JBLプロフェッショナル・シリーズ総合カタログ

Professional Series

JBL

JBL Professional Series

JBLの音響製品には、だれ言うともなく“卓越した性能”という形容がつけられています。
それは、厳しすぎるほどの基準に従ってつくられ、優れた技術の全てを注いでいるためかも知れません。プロ用機器の分野でも高い評価と信頼性を得ているのは、大入力、大出力、低歪率、安定性など厳しい要求に応えるシビアな設計をしているからです。
ボイスコイル、マグネット、ダイアフラムそして堅固なエンクロージャーに至るまで音響理論に基づき精密な設計を行なう——これこそJBLの真髄であり、プロフェッショナルに愛されるゆえんです。
音響再生の奥義を熟知し、必要な技術、理論をマスターしたJBLクラフトマンがつくり出すプロ用機器群、それは、あらゆる用途に使用できる多様性を備えており、今後も一層充実した内容を目指しています。

Index

Studio Monitor Loudspeaker Systems 2,3,4,5,6,7
〈4311A コントロール・モニター〉
〈4331A スタジオ・モニター〉
〈4333A スタジオ・モニター〉
〈4343 スタジオ・モニター〉
〈4350 スタジオ・モニター〉
〈4315 スタジオ・モニター〉
Special Purpose Loudspeaker Systems ···· 8,9
〈4681/4682 ライン・アレー〉
〈4375 ライン・アレー〉
〈4380 コリニア・アレー〉
Low Frequency Horns ····· 10,11
〈4560 フロント・ローディング・ホーン〉
〈4550 フロント・ローディング・ホーン〉
〈4530 リア・ローディング・ホーン〉
〈4520 リア・ローディング・ホーン〉
Special Duty Loudspeakers ····· 13
〈2105/2115フルレンジ型〉
〈2145 複合型〉
〈2150 複合型〉
Extended Range Loudspeakers ····· 14
〈2110〉〈2120〉〈2125〉〈2130〉〈2135〉
Low Frequency Loudspeakers ····· 15
〈2202〉〈2205〉〈2215〉〈2216〉
〈2220〉〈2231A〉〈2290〉
High Frequency Drivers ····· 16
〈2405〉〈2410〉〈2420〉〈2440〉〈2461〉
〈2470〉〈2482〉
Frequency Dividing Networks ····· 17
〈3105〉〈3110〉〈3115〉〈3120〉〈3125〉
〈3152〉〈3182〉
Electronic Frequency Dividing Networks ···· 18
〈5231〉〈5232〉
High Frequency Horns ····· 19
〈2340 ラジアル・ホーン〉
〈2345 ラジアル・ホーン〉
〈2350 ラジアル・ホーン〉
〈2355 ラジアル・ホーン〉
〈2356 ラジアル・ホーン〉
〈2397 ディフラクション・ホーン〉
High Frequency Horn/Lens Assemblies ····· 20
〈2305 パーフォレイト・プレート〉
〈2390 フォールデット・プレート〉
〈2391/2392 スラント・プレート〉
〈2395 スラント・プレート〉
Horn Adaptors ····· 21
〈2327 アダプター〉
〈2328 ホーン・スロート〉
〈2329 ダブル・スロート〉
Power Amplifiers ····· 23
〈6006B〉〈6010B〉〈6020〉
Mixer and Preamplifiers ····· 24,25
〈5101B マイク・プリアンプ〉
〈5306 ミキサー・プリアンプ〉
〈5308 増設用ミキサー〉
〈5600-2B ミキサー・プリアンプ〉
Special Purpose Electronics ····· 26,27
〈7124B AGCアンプ〉
〈7125 セーフティー・マトリックス〉
〈7126B コンプレッサー・アンプ〉
Accessories ····· 27,28,29
〈MA15 スピーカーマウント・キット〉
〈2505 可変ホーン・マウント〉
〈5190B マイク増設用プリアンプ〉
〈5191 マグネチック・フォノ/テープヘッド用プリアンプ〉
〈5192 マグネチック・フォノ用プリアンプ〉
〈5195 マッチング/ブリッジ・トランス〉
〈5196 マッチング/ブリッジ・トランス〉
〈5901 ユニバーサル型マイク・トランス〉
〈5904 T型パッド〉
〈9308 ライン・マッチング・トランス〉
〈9375 ライン・マッチング・トランス〉

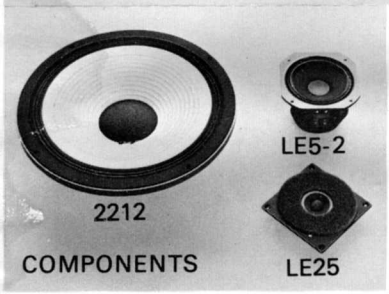
Loudspeaker Systems

Studio Monitor Loudspeaker Systems

〈4311 コントロール・モニター〉

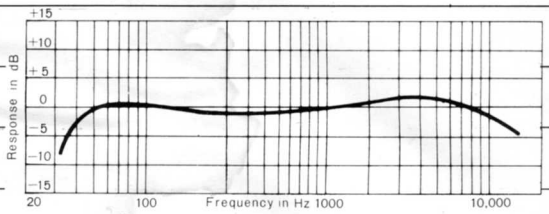
モニターシステムとしては最も小型。小スタジオや調整室、さらにはポータブルタイプのプレイバックモニターとして機能的な活用ができます。

ユニット構成はコーン型スピーカーの3ウェイ。ウーファーは30cm口径で最低共振周波数foは22Hz。スコーカーは1,500～6,000Hzをカバーし、ウーファーからの背面干渉を防ぐためバックキャビティーをもたせています。ツイーターは磁束密度15,000gaussの強力な磁気回路をもった3.6cm口径。各ユニットともJBL技術を駆使し、モニターシステムとして、大入力でスムーズなレスポンスを約束します。なお、フロントパネルには、中音域、高音域が独立して調整できる連続可変コントロールを採用。プロの要求する微妙な音質もありのまま再生します。



4311（グレー仕上げ） 標準価格 ¥193,800

4311WX（ウォルナット仕上げ） 標準価格 ¥205,200



〈4331A　スタジオ・モニター〉

4331Aは録音スタジオ、放送局、ホールなどの再生モニターやミックスダウンに最適な2ウェイモニターシステムです。

ウーファーは新開発の38cm口径で、コーン紙の密度、質量を改善したことにより、一段と歯切れのよい低音を再生。中高音域にはエクスポネンシャル・ホーンレンズ付きドライバーを採用しています。このドライバーはセンターポールピースに純銀のコーティングを施し、インピーダンスのコントロールリングとして動作させ、スムーズな高音域特性を得ています。また、ホーンの形状を長くしたことで低い周波数でのアバレを防ぎ、ウーファーとのつながりも自然なものとなりました。指向特性は12kHzで水平60°、垂直30°となっています。

グレイ仕上げのエンクロージャーはブラックのグリルが、ウォルナット仕上げのものはブルーのグリルが取り付けられています。

	再生周波数帯域（±3dB）	許容入力（連続プログラム）	インピーダンス	音圧レベル（新JIS）	クロスオーバー周波数	エンクロージャー内容積	寸法	重量
4311A	45～15kHz	40W	8Ω	91dB	1500/6000Hz	42.5liters	60H×[illegible]W×30Dcm	19kg
4331A	35～15kHz	75W	8Ω	93dB	800Hz	156liters	77.8H×61.9W×51.4Dcm	57kg

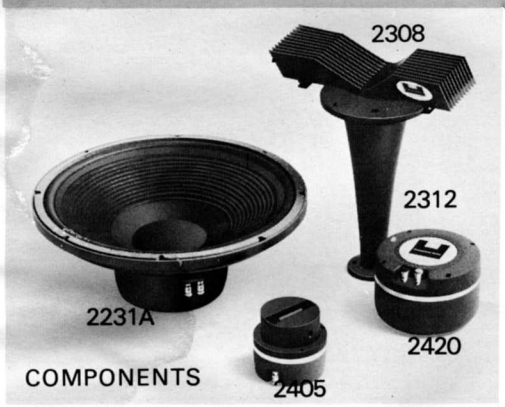
4331A（グレー仕上げ）　標準価格 ¥488,000

4331WXA（ウォルナット仕上げ）標準価格 ¥511,000

〈4333A　スタジオ・モニター〉

4333Aは4331Aに超高音域用ツイーターを追加した3ウェイ・モニターシステムです。
採用したユニットは、いずれもプロで要求される物理特性やきめ細かな音質を追求したもので、小入力時でも大入力時でも原音のディテールを明確に再現します。
ウーファーは新開発の38cm口径で800Hz以下を、エクスポネンシャル・ホーンレンズ付きドライバーは800〜8,500Hzの広いレンジをリニアーな特性で再生、さらに8,500Hz以上をツイーターが再生します。とくに、このツイーターはエクスポネンシャル・ホーンとディフラクション・ホーンとの両方の特性を兼備したJBL独自のもので、20,000Hz以上の超高音域も±3dB以内でおさめしかも指向特性が16kHzで水平90°、垂直30°と抜群の値となっています。
ドライバーとツイーターのレベル調整はフロントパネルについており、それぞれ単独に連続可変方式で行なえます。

4333A



COMPONENTS

	再生周波数帯域（±3dB）	許容入力（連続プログラム）	インピーダンス	音圧レベル（新JIS）	クロスオーバー周波数	エンクロージャー内容積	寸法	重量
4333A	35〜20kHz	75W	8Ω	93dB	800/8500Hz	156liters	77.8H×61.9W×51.4Dcm	59kg

4333A（グレー仕上げ）　標準価格　¥559,000

458300 x 2 = 916600

4333WXA（ウォルナット仕上げ）　標準価格　¥581,000

	再生周波数帯域（±3dB）	許容入力（連続プログラム）	インピーダンス	音圧レベル（新JIS）	クロスオーバー周波数	エンクロージャー内容積①	寸法	重量
4343	35～20kHz	75W	8 Ω	93dB	300/1250/9500Hz	159liters	105.1H×63.5H×43.5Dcm	79kg

①エンクロージャー内容積には、低中音スピーカー2121用エンクロージャー内容積8.5litersが含まれています。

〈4343　スタジオ・モニター〉

4343はJBLを代表するモニターシステム4350の開発技術を基本的に継承した完成度の高い4ウェイシステムです。

ユニット構成は低音域用に38cm口径ウーファーを、低中音域用に25cmコーン型を、高音域用にはエクスポネンシャル・ホーンレンズ付きドライバー、そして超高音用に高性能ツイーターを採用しています。これらのユニットはすべてアルニコVマグネット、エッジ巻きリボンボイスコイル、ギャップなど厳格なJBLプロ規格に基づいてつくられ、その特性、音質には定評があります。

このシステムの特長は、コントロールルーム用として理想的な正確な過渡応答と低歪率を備えていることです。

とくに低中音域用ユニットはこのシステムのために新しく開発したもので、磁束密度10,000 gauss、重量2.9kgの強力マグネット・アッセンブリーをもち、音質の向上に大きく貢献しています。また超高音域用ツイーターも20,000Hz以上までをスムーズに再生、指向性も16kHzで水平60°、垂直30°という値です。

低中音域、高音域、超高音域のレベル調整はフロントパネルで行なえます。この調整は単独に連続可変できるため、プロの要求する厳格な音質、特性を得ることができます。

4343（グレー仕上げ）　標準価格 ¥739,000

4343WX（ウォルナット仕上げ）標準価格 ¥791,000

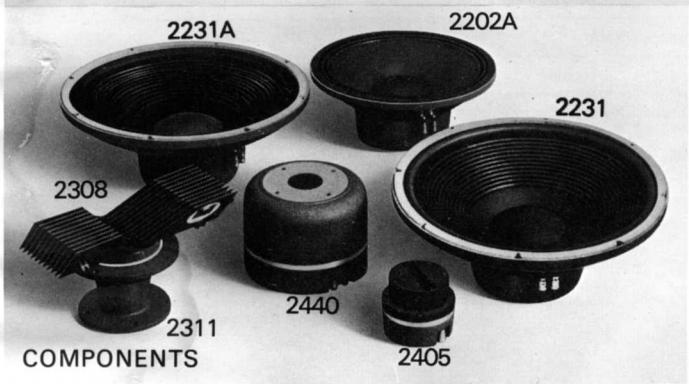
〈4350　スタジオ・モニター〉

モニターシステムの最高峰4350は、音質、特性、低歪率、大入力などを、すべての面で充実させた大型プロフェッショナル・システムです。録音時のマイクセッティングや音響状態、各楽器のイントネーション、使用機器との関連などの微妙な違いを明確に表現します。ユニット構成は4ウェイ5スピーカー。250Hz以下を再生する低音域は38cm口径ウーファー、250Hz～1,100Hzを受けもつ30cm口径低中音域用コーン型スピーカー、さらに1,100～9,000Hzの高音域を再生するエクスポネンシャル・ホーンと音響レンズを組合わせたドライバー、そして9,000Hz以上の超高音域を再生するツイーターなどで構成されています。

各ユニットの配置、材質、機能は、プロ用機としての充分な配慮がなされています。低中音用スピーカーは歪の原因となる背面干渉を防ぐためバックキャビティを使用。また、高音、超高音域を再生するユニットのダイアフラムは超薄型に設計し、フラットな高音域再生を目ざしました。指向特性は、12kHzの超高音域で水平60°、垂直30°とすぐれた特性です。これらの音質、周波数特性はフロントパネルの連続可変コントロールにより、低中音域、高音域、超高音域それぞれの範囲で独立して細かにレベル調整ができます。

なお、このシステムはクロスオーバー周波数250Hzにおいて、マルチアンプ方式となっていますので、パワーアンプの他に別売のディバイダー5231か、または5232とフィルター基板52-5121をお求めください。

なお、エンクロージャーの仕上げはウォルナットとグレイの2種類。リスニングルームの条件、予算などによりお選びいただけます。

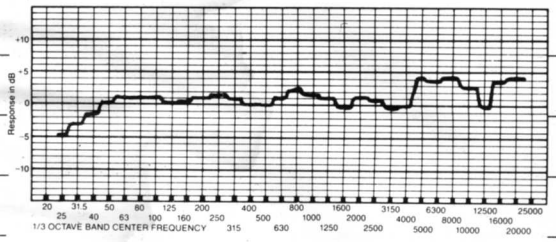


	再生周波数帯域（±3dB）	許容入力（連続プログラム）	インピーダンス	音圧レベル（新JIS）	クロスオーバー周波数	エンクロージャー内容積	寸法	重量
4350	30～20kHz	200W（4Ω、250Hz以下） 100W（8Ω、250Hz以上）	4Ω（250Hz以下） 8Ω（250Hz以上）	95.5dB	250/1100/9000Hz	①269liters	89H×121W×51Dcm	110kg

エンクロージャー内容積には、低中音スピーカー2202A用エンクロージャー内容積34litersが含まれています。

4350（グレー仕上げ）　標準価格　**¥993,800**

4350WX（ウォルナット仕上げ）　標準価格　**¥1,107,900**



⅓オクターブバンド・ピンクノイズにより測定、60°（水平）30°（垂直）範囲内において、上記特性より偏差2dB以内です。

4315

	再生周波数帯域（±3dB）	許容入力（連続プログラム）	インピーダンス	音圧レベル（新JIS）	クロスオーバー周波数	エンクロージャー内容積	寸法	重量
4315	35～20kHz	60W	8Ω	89dB	400/2,000/8,000Hz	73.8liters	85H×52W×28Dcm	41kg

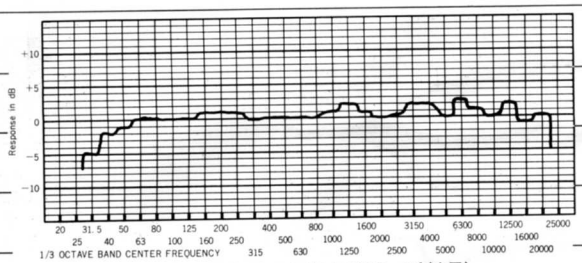
①エンクロージャー内容積には、低中音スピーカー用エンクロージャー内容積2.8litersが含まれています。

〈4315　スタジオ・モニター〉

JBLスタジオモニターの中で最も小型な4315。コンパクトとはいえ、4350以下のモニターシリーズと同様新開発の高性能ユニットで構成した4ウェイですから、シビアーな特性とパワフルでしかも清澄なサウンドとなっています。使用ユニットは30cm径低音用、20cm径低中音用12.5cm径高音用、そして超高音用トランスデューサーです。これらユニット全てが、JBL独自のアルニコV使用強力磁気回路を採用、ボイスコイルはアルミのリボン線をエッジワイズ巻きした大口径かつ精巧なもので、35Hz～20,000Hz±3dBの広帯域をスムーズなレスポンスで再生しています。とくに超高音用ユニットは4350にも採用した2405で、8,000Hz以上を再生、指向特性のよさは抜群です。フロントパネルには超高音用、高音用、中音用のバランスコントロールがついています。連続大出力にも十分耐える高性能ネットワークと強固な設計のエンクロージャーが、それぞれの持味を発揮し、ユニットを最大限に生かしています。

4315（グレー仕上げ）　標準価格　¥455,000

4315WX（ウォルナット仕上げ）　標準価格　¥470,000



⅓オクターブ・バンドピンクノイズにより測定。80°（水平）、60°（垂直）範囲内において、上記特性より偏差2dB以内です。

〈4681／4682　ライン・アレー〉

4681、4682はホールや演奏会場でのボーカル、楽器などのPA用として開発されたラインアレー型システムです。この2機種の特長は300W RMS、600W連続プログラムという驚異的な最大許容入力をもっていることと強堅でしかも軽量のプラスチック一体成型エンクロージャーを採用していることにあります。

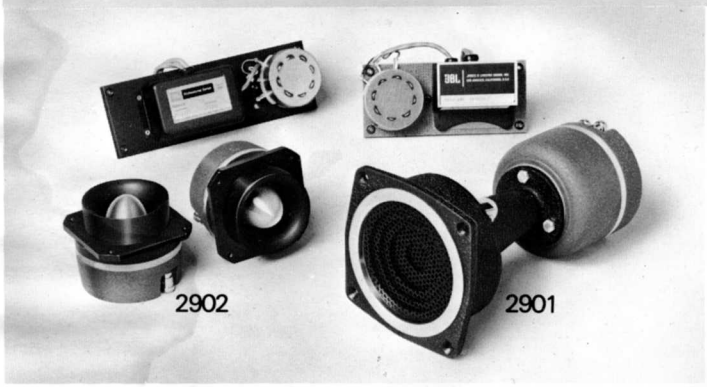
4681はJBL楽器用ユニット25cmフルレンジ型のK110を4個採用、楽音成分の多い帯域55～8,000Hzを再生しています。このK110は25cm型とは思えないパワフルなサウンドをもち、しかも苛酷な条件のもとでの厳しい使用にも耐えるすぐれた特性をもっています。

4682は、4681に高音用パワーパック2902(2402とネットワークで構成)を追加したもので高域特性が大幅に伸びています。ここで採用しているリングラジエーター2402は広帯域にわたってフラットな特性をもっており、3,000Hzから15,000Hzまでを再生します。また、2402の配置も2個をやや外側に向けることにより、指向特性を改善しました。

この両機種、エンクロージャーに新開発のプラスチック一体成型のものを採用、プロ用にふさわしく十分な強度と耐久性をもたせ、同時に移動、運搬に便利なように軽量化をはかりました。

〈2901／2902　高音用パワーパック〉

2901、2902はともに4681に追加して、中高音域を改善するものでツイーターとネットワークで構成されています。2901はホーンレンズ付大出力ドライバー(2301、2461)とネットワーク、2902は2402リングラジエーターとネットワークで構成。この高音用パワーパックを追加することにより再生音が一段とリアルに、シャープになります。



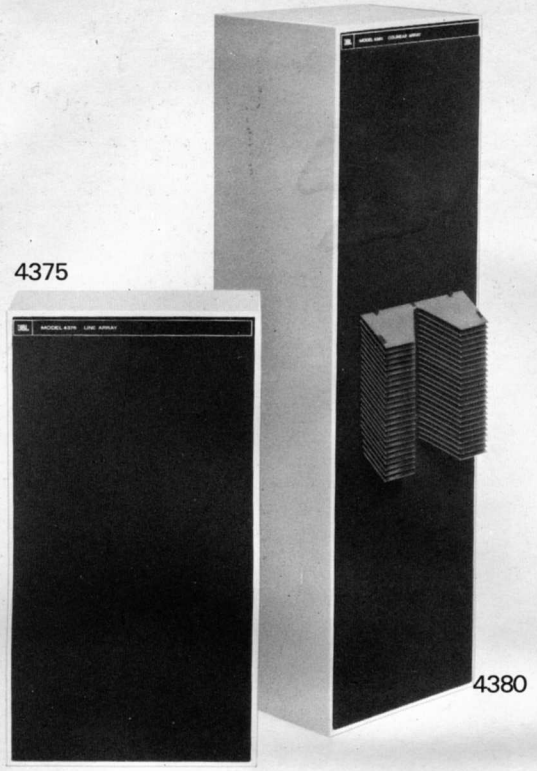
	4681	4682
再生周波数帯域	55～8kHz	55～15kHz
指向特性	60°×40°	60°×40°
インピーダンス	8Ω(最小6Ω)	8Ω(最小6Ω)
許容入力(連続プログラム)	600W	600W
音圧レベル(新JIS)	100dB	101dB
使用ユニット	K110×4	K110×4、2902
クロスオーバー周波数		3,000Hz
寸法	132H×44W×34Dcm	132H×44W×34Dcm
重量	36kg	40kg

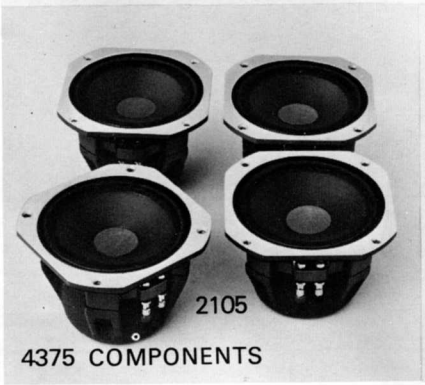
4681　標準価格　**¥500,000**

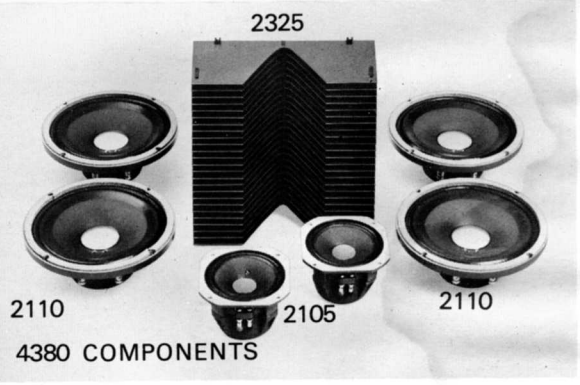
4682　標準価格　**¥643,000**

2901　標準価格　**¥125,000**

2902　標準価格　**¥110,000**







Special Purpose Loudspeaker Systems

〈4375　ライン・アレー〉

4375 は水平向の指向特性を大幅に向上させたラインアレー型システムで、小型ながらも大入力を誇っています。13cm口径スピーカーを4個採用、主に会議室、大ホール、講堂などでのPA用に使用されます。 周波数特性は150～15,000Hz、指向特性は120°(水平)×30°(垂直)と比類ない広さをもっています。

大ホールなどでPA用として使用すると、遠方まで明確な再生音を到達させることができます。

〈4380　コリニア・アレー〉

ユニークなコリニア・アレー型スピーカーシステムで、20cm口径スピーカーを4個と13cm口径スピーカー2個を縦に並べてあります。このユニット配置は低・中音を効果的にオーバーラップするように設計したためで、55～15,000Hzの帯域をフラットに、しかも90°(水平)×20°(垂直)の指向特性でもって再生します。

また、中高音の効果的拡散のために12.5cm口径スピーカーに音響レンズを採用しています。

す。定格入力100W、音圧レベル99dB(新JIS)とすぐれた特性をもち、大ホール、教会、講堂などでの使用に最適です。

	4375	4380
再生周波数帯域	150～15kHz	55～15kHz
指向性	120°×30°	90°×20°
インピーダンス	8Ω	8Ω
許容入力(連続プログラム)	100W	100W
音圧レベル(新JIS)	100dB	99dB
使用ユニット	2105×4	2110×4 2105×2
クロスオーバー周波数		1500Hz
エンクロージャー内容積	34.0liters	93.5liters
寸法	76.2H×40.0W×16.5Dcm	121.3H×36.2W×28.9Dcm
重量	18kg	37kg

4375　標準価格　¥172,000

4380　標準価格　¥312,100

Low Frequency Horns

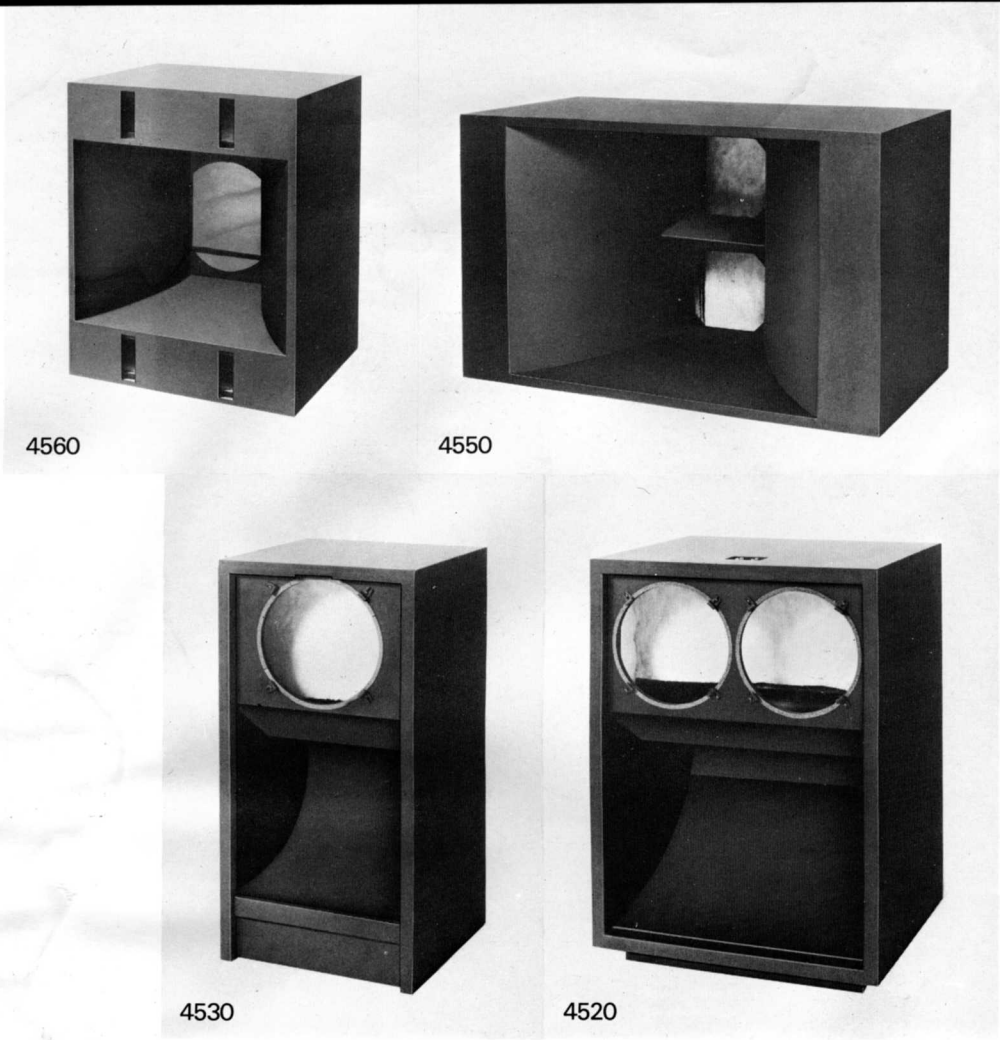
JBL低音用ホーンはコンサートホールのPA用やハイパワー再生に理想的な設計です。
ホーンは入念な音響理論に基いて設計され、JBLの精巧な木工技術を駆使し、特にカーブには高密度の合板を採用しています。
裏面パネルにはプッシュボタン式の端子があり、バッフルには38cm口径スピーカーが取付けられます。また表面はすべてユーティリティー・ブラックで仕上げられています。

〈4560　フロント・ローディング・ホーン〉
4560は38cm口径スピーカー1個用の指向性ホーンで800Hz以下で使用します。
低域は60Hzまで再生できます。指向性は800Hzにおいて水平90°、垂直60°、また4560のホーンの効果により200Hz以上では能率が6dBアップします。

〈4550　フロント・ローディング・ホーン〉
4550は38cm口径スピーカー2個用の指向性ホーンで800Hz以下で使用します。
エンクロージャーは密閉型で、50Hzまでの低域を再生、100Hz以上では能率を6dBアップします。指向性は800Hzにおいて水平75°、垂直30°です。

〈4530　リア・ローディング・ホーン〉
4530は38cm口径スピーカー1個用のエンクロージャー。量感ある低域再生のために全長2mの折返しホーンを持ったリア・ローディング型で、50Hzまで再生可能、60Hzまでフラットな特性です。また150Hz以上はウーファーがダイレクトに再生します。

〈4520　リア・ローディング・ホーン〉
4520は38cm口径スピーカー2個用のエンクロージャー。全長4mの折返しホーンを持ったリア・ローディング型で、42Hzまで再生し、50Hzから上をほぼフラットに再生する、すばらしい特性です。



	4520	4530	4550	4560
適正ウーファー	2205	2205	2220 2205	2220 2205
最低周波数	30Hz	50Hz	50Hz	60Hz
寸法	128H×91W×76Dcm	121H×60W×60Dcm	152H×91W×83Dcm	91H×76W×61Dcm
重量	98kg	54kg	88kg	41kg

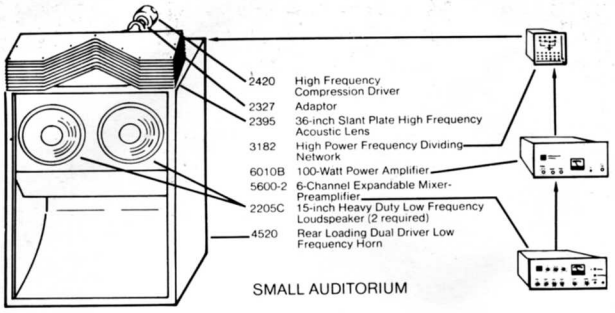
4560　標準価格　¥99,100

4550　標準価格　¥190,200

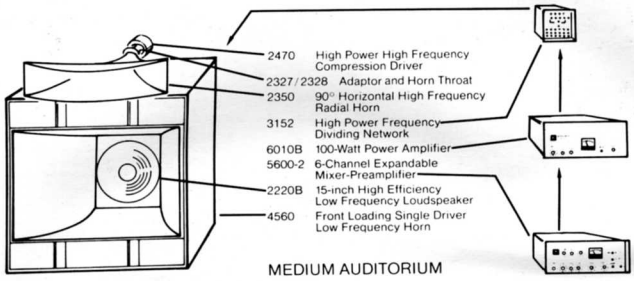
4530　標準価格　¥78,900

4520　標準価格　¥166,500

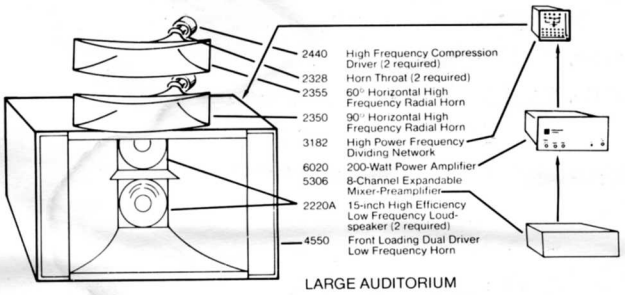
Flexibility ——これはプロの音響システムに不可欠なものです。ご存知のように、プロの音響システムは実に独特で、決まりきった方法とか、ほとんど不可能な場合とかいろいろです。
しかし JBLプロフェッショナル・シリーズは、いかなる使用目的にも十分なFlexibility を持ち、確実な動作と設置の容易さを検討しつくして設計されています。JBL プロ用ユニットのラインアップはどのような使用目的にもかなえられるほど豊富で、ここに示したシステムは、そのほんの一例に過ぎません。



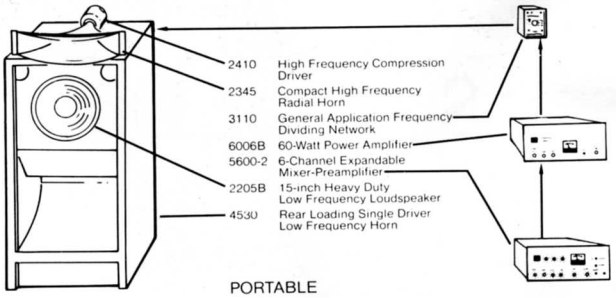
SMALL AUDITORIUM



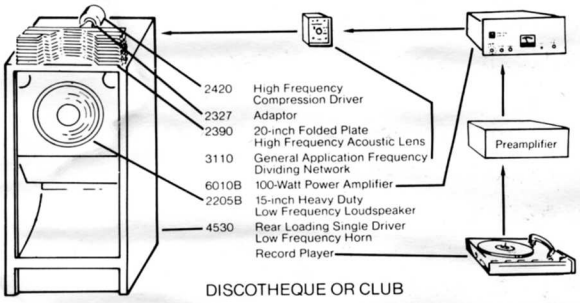
MEDIUM AUDITORIUM



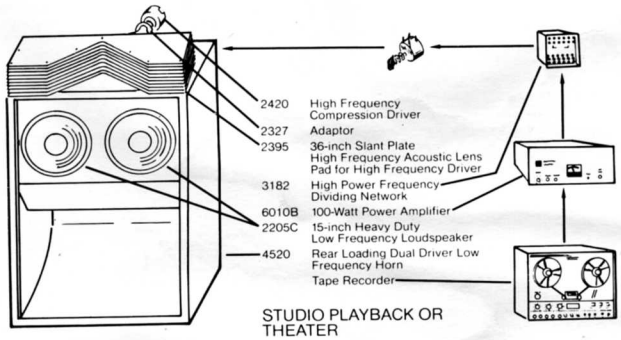
LARGE AUDITORIUM



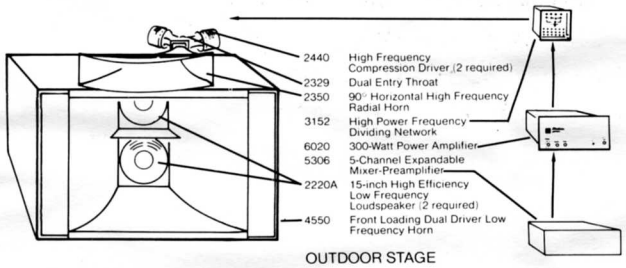
PORTABLE



DISCOTHEQUE OR CLUB



STUDIO PLAYBACK OR THEATER



OUTDOOR STAGE

Speaker Units

	2105	2115	2145	2150
口径	13cm	20cm		
(ウーファー ツイーター)			30cm 5cm	38cm 13cm
インピーダンス	8Ω	16Ω	8Ω	8Ω
許容入力 (連続プログラム)	40W	40W	35W	50W
音圧レベル (新JIS)	85.5dB	92dB	92dB	100dB
再生周波数帯域	150～15kHz	40～15kHz	40～15kHz	50～12kHz
fo	200Hz	45Hz	25Hz	55Hz
ボイスコイル径	2.2cm	5.1cm		
(ウーファー ツイーター)			7.6cm 1.6cm	10.2cm 2.2cm
マグネット重量	1.2kg	3.0kg		
(ウーファー ツイーター)			3.1kg 0.7kg	5.7kg 1.2kg
磁束密度	16,500 gauss	8,500 gauss		
(ウーファー ツイーター)			10,400 gauss 12,000 gauss	11,500gauss 16,500gauss
エンクロージャー 内容積	61liters	28～57liters	57～85liters	170liters
寸法	7.9cm	9.8cm	11.1cm	14.6cm
重量	1.4kg	3.6kg	4.5kg	7.2kg

Special Duty Loudspeakers

〈2105　13cm径スピーチレンジ型〉

口径13cmという小型ユニットですが、高い音響出力、フラットなレスポンス、広い指向性を持っています。スタジオのトークバック用、ホールや劇場のサラウンド用、ポータブル用に最適で、自然な音色が特徴です。アルニコVのマグネットや22mmφのエッジワイズ巻きボイスコイル等で構成されています。

〈2115　20cm径フルレンジ型〉

2115はモニター用などに定評のある20cmフルレンジ・スピーカー。8オクターブにわたって均一な特性を持ち、42.5ℓの小型バスレフエンクロージャーに取付けた場合でも十分な音圧レベルが得られます。2115は1本でモニター用として、あるいは数個を使用してコラム・アレーとしホール内のサラウンド用やPA用として用いることができ、再生周波数帯域は、40～15,000Hzです。

〈2145　30cm径複合型〉

30cmウーファーと、独立した5cm高域ラジエーター、さらにクロスオーバー周波数3,000Hzのネットワークを内蔵した複合型スピーカー。音響工学に基いた設計で、ワイドなダイナミックレンジを持ち、均一な音響空間をつくります。とくに2145は奥行きが11.1cmと薄いので、壁面の埋め込み用など、限定されたスペースでの使用に効果を発揮します。再生周波数帯域は40～15,000Hz、指向特性は90°(水平・垂直)です。

〈2150　38cm径複合型〉

2150は、同一フレームに38cmウーファーと13cmダイレクト・ラジエーターを備えた2ウェイ・システムです。

指向性が広く、定格入力が大きいのでホールや会議場など広いスペースでの使用に適しています。ネットワークは内蔵していませんので、クロスオーバー1,200Hzのネットワーク〈3125〉を使うか、マルチアンプ方式にする必要があります。またエンクロージャーは、バスレフあるいは低域ホーンが適しています。

2105　標準価格　**¥24,300**

2115　標準価格　**¥48,800**

2145　標準価格　**¥77,400**

2150　標準価格　**¥97,600**

Extended Range Loudspeakers

JBLプロフェッショナル・シリーズのフルレンジ・スピーカーはライン・アレーやPA装置などに最適な、精密設計のスピーカーです。フルレンジ型なので可聴周波数帯域のほとんどをカバーしますが、レスポンスをさらに超高域まで伸ばしたいときはツイーターの追加をおすすめします。各スピーカーとも強力な磁気回路やエッジワイズ巻きの大口径アルミリボン・ボイスコイル、浅い特殊形状のコーン紙、アルミ・センタードームなどで構成され、高域までのなめらかな再生と幅広い指向特性をもち、音色はクリアーで、トランジェントや能率の点でも抜群。許容入力も十分に大きく、プロの苛酷な使用にも力強く耐えるスピーカーです。

	2110	2120	2125	2130	2135
口径	20cm	25cm	30cm	30cm	38cm
インピーダンス	8Ω	8Ω	8Ω	8Ω	8Ω
許容入力（連続プログラム）	20W	60W	50W	100W	100W
音圧レベル（新JIS）	97dB	98dB	98dB	101dB	103dB
再生周波数帯域	60～10kHz	50～8kHz	50～8kHz	50～8kHz	40～8kHz
fo	55Hz	65Hz	48Hz	58Hz	40Hz
ボイスコイル径	5.1cm	7.6cm	7.6cm	10.2cm	10.2cm
マグネット重量	1.6kg	3.0kg	3.1kg	5.9kg	5.9kg
磁束密度	9,000 gauss	10,200 gauss	10,400 gauss	12,000 gauss	12,000 gauss
エンクロージャー内容積	57～85liters	85～113liters	43～85liters	85～170liters	113～170liters
寸法	7.9cm	11.1cm	10.5cm	12.7cm	14.6cm
重量	2.0kg	3.7kg	4.5kg	6.8kg	7.5kg

2110 標準価格 ¥28,600

2120 標準価格 ¥46,700

2125 標準価格 ¥52,900

2130 標準価格 ¥71,000

2135 標準価格 ¥73,100

Low Frequency Loudspeakers

JBLのウーファーは適切なエンクロージャーに取付けられたとき、損傷や歪の恐れなくすばらしいトランジェントと能率で、ハイパワーの再生を行ないます。耐熱効果を十分に考慮した10.2cm径のエッジワイズ巻き銅リボン・ボイスコイルや、大型アルニコVマグネット、そして精密設計の磁気回路などJBLの高度な技術をフルに取入れています。

JBLウーファーはシビアな特性が要求されるモニター用から、ハイパワーのホール用まであらゆる用途に適しています。

〈2290　パッシブ・ラジエーター〉

2290は38cm径のパッシブ・ラジエーターで、質量やコンプライアンスを丹念に調整したコーン紙とフレームからできています。

2290は142ℓから227ℓ程度の密閉型エンクロージャーで、2205あるいは2215ウーファーと共用するように設計されており、150Hz以下の低音域の迫力を増し、ダイナミックレンジを拡大します。パッシブ・ラジエーターは幅広い周波数特性と低歪率を必要とする音楽再生用に、特におすすめできます。なお、直径は38cm、奥行は8.6cm、重量1.6kgです。

	2202	2205	2215	2216	2220	2231A
口径	30cm	38cm	38cm	38cm	38cm	38cm
インピーダンス	8Ω	8/16/32Ω	8/16Ω	4Ω	8/16/32Ω	8Ω
許容入力（連続プログラム）	100W	150W	150W	150W	100W	100W
音圧レベル（新JIS）	96dB	96dB	94dB	96dB	101dB	93dB
再生周波数帯域	60～4kHz	30～2kHz	35～1.2kHz	35～1.2kHz	40～2kHz	25～2kHz
適正クロスオーバー周波数	1200Hz	800Hz	800Hz	800Hz	800Hz	800Hz
fo	50Hz	25Hz	20Hz	24Hz	37Hz	16Hz
ボイスコイル径	10.2cm	10.2cm	10.2cm	10.2cm	10.2cm	10.2cm

	2202	2205	2215	2216	2220	2231A
マグネット重量	5.9kg	5.9kg	9.2kg	9.2kg	5.9kg	5.9kg
磁束密度	12,000 gauss	11,500 gauss	11,000 gauss	11,000 gauss	12,000 gauss	12,000 gauss
エンクロージャー内容積	113～170liters	170～227liters	170～227liters	170～227liters	170～283liters	113～170liters
寸法	12.4cm	14.6cm	14.9cm	14.9cm	14.9cm	14.6cm
重量	6.8kg	7.5kg	10.7kg	10.7kg	7.7kg	7.5kg

2202	標準価格	¥71,000
2205	標準価格	¥83,800
2215	標準価格	¥92,200
2216	標準価格	¥87,800
2220	標準価格	¥73,100
2231A	標準価格	¥80,000
2290	標準価格	¥18,100

High Frequency Drivers

JBLプロフェッショナル・シリーズのコンプレッション・ドライバーは、クリアーで歯切れよく自然な音色が特徴で、世界中のプロに愛用されています。どの機種にも強力なアルニコVマグネットと精密磁気回路、大口径のエッジワイズ巻きリボン・ボイスコイルを採用。

ワイドレンジ用と超高域用ドライバーは空気圧成型のアルミ合金製ダイアフラムを採用し、幅広くなめらかな周波数特性と耐久性を実現。

またハイパワー用ドライバーは、コンサートや野外PA用など、高い音圧レベルでの使用にたえるために、強靭なフェノール含浸リネン製のダイアフラムを採用しています。

どちらのドライバーの音波も精密に設計されたフェイジング・プラグを通ってダイアフラムからホーンスロートへ向うようになっており、指向性はホーンや音響レンズによってコントロールされます。

〈2405　超高域ドライバー〉

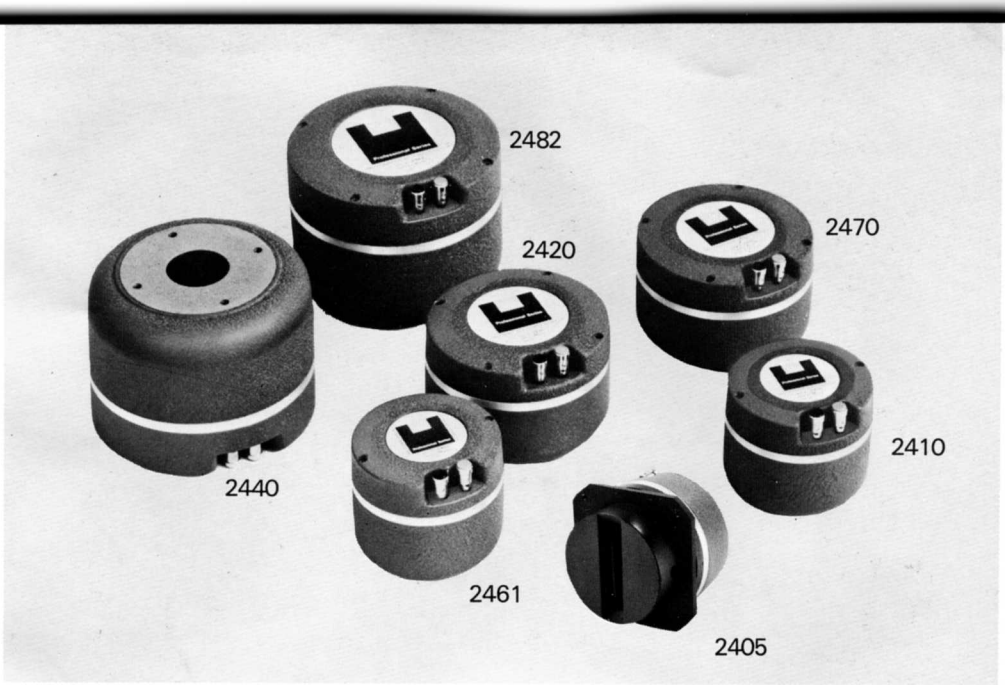
2405は7,000Hz以上の超高域再生用ドライバーです。入力1W、距離1mにおいて音圧レベル105dB。きわだった明確な再生をおこないます。さらにエクスポネンシャル・ホーンの特性とディフラクションホーンの特性を兼備しています。

〈2410、2420、2440　ワイドレンジ・ドライバー〉

JBLワイドレンジ・ドライバーは能率がよく幅広い周波数特性で品位の高い音質が特徴。音楽再生用や高級モニター用に最適です。特に2410と2420には純銀製のインピーダンス・リングを採用し、周波数特性を一段と広げています。

〈2461、2470、2482　ハイパワー・ドライバー〉

大きな許容入力と高い能率、ハイパワー用ドライバーは高い音圧レベルでの再生を目的に設計されています。特にダイアフラムにはフェノール含浸リネン製を、またボイスコイルにはエッジワイズ巻き線を採用、歯切れよく自然な音色を再生します。



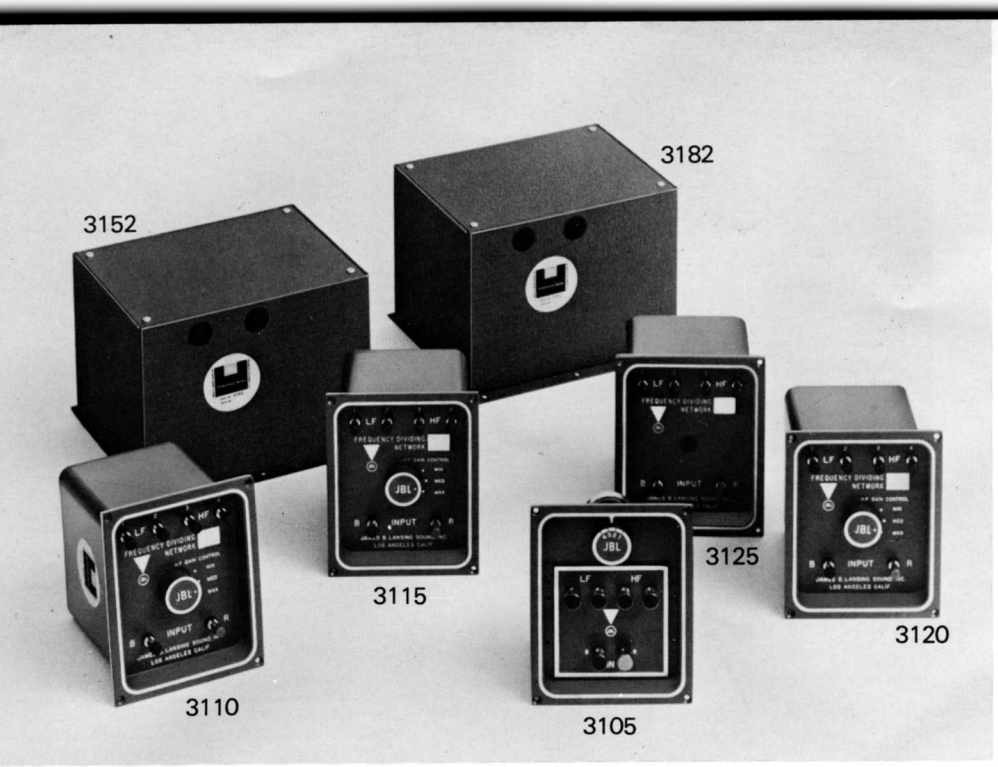
	2405
ホーン・マウス	7.9×1.8cm
インピーダンス	16Ω
許容入力（連続プログラム）	20W
音圧レベル（新JIS）	105dB
再生周波数帯域	6500～21,500Hz
指向性	90°×30° at 16kHz 65°×25° at 20kHz
適正クロスオーバー周波数	7000Hz
ボイスコイル径	4.4cm
マグネット重量	1.5kg
磁束密度	16,500 gauss
径	9.8cm
奥行	8.3cm
重量	2.0kg

	2410	2420	2440
ホーン・スロート径	2.5cm	2.5cm	5.1cm
インピーダンス	16Ω	16Ω	16Ω
許容入力（連続プログラム）	30W	30W	60W
①音圧レベル（新JIS）	117dB	118dB	118dB
再生周波数帯域	500～15kHz	500～20kHz	500～12kHz
適正クロスオーバー周波数	500Hz	500Hz	500Hz
ボイスコイル径	4.4cm	4.4cm	10.2cm
マグネット重量	3.4kg	4.5kg	10.8kg
磁束密度	16,000 gauss	19,000 gauss	20,500 gauss
径	11.4cm	14.6cm	17.8cm
奥行	9.8cm	9.8cm	13.6cm
重量	3.7kg	5.0kg	11.3kg

	2461	2470	2482
ホーン・スロート径	2.5cm	2.5cm	5.1cm
インピーダンス	16Ω	16Ω	16Ω
許容入力（連続プログラム）	50W	50W	120W
音圧レベル（新JIS）	117dB	117dB	118dB
再生周波数帯域	500～12kHz	500～12kHz	300～6kHz
適正クロスオーバー周波数	500Hz	500Hz	300Hz
ボイスコイル径	4.4cm	4.4cm	10.2cm
マグネット重量	3.4kg	4.5kg	10.8kg
磁束密度	16,000 gauss	19,000 gauss	20,500 gauss
径	11.4cm	14.6cm	17.8cm
奥行	9.8cm	9.8cm	13.6cm
重量	3.7kg	5.0kg	11.3kg

①ドライバーの音圧レベルは、口径2.5cm、長さ90cmのチューブにドライバーを取付け、入力1mW（500～2500Hzワーブルトーン）で測定したものです。

2405	標準価格	¥44,500
2410	標準価格	¥81,700
2420	標準価格	¥101,800
2440	標準価格	¥169,700
2461	標準価格	¥89,700
2470	標準価格	¥101,800
2482	標準価格	¥169,700



Frequency Dividing Networks

JBLのプロ用ネットワークは、どのような2,3ウェイシステムも構成できるように豊富な機種を揃えています。

特にウーファーの誘導リアクタンスを打消すための特別設計された12dB/oct並列L-C回路を採用。精密調整の低損失インダクター、大電流用スイッチ、抵抗そして無誘導、無極性コンデンサーなど、最高のパーツで構成されています。

3105、3110、3115、3120、3125は一般用のネットワーク、3152と3182はコンサートやホールなどに用いるハイパワー用ネットワークです。

	クロスオーバー周波数	許容入力（連続プログラム）	インピーダンス ウーファー	インピーダンス ツイーター	ツイーターアッテネーター
105	7000Hz	50W	12～16Ω	12～16Ω	ボリューム
110	800Hz	100W	12～16Ω	12～16Ω	6-8-10dBスイッチ
115	500Hz	100W	12～16Ω	12～16Ω	6-8-10dBスイッチ
120	1200Hz	75W	8～12Ω	12～16Ω	0-3-6dBスイッチ
125	1200Hz	100W	Model 2150専用		固定
152	500Hz	250W	12～16Ω	12～16Ω	0-2-4-6-8dBストラップ
182	800Hz	250W	12～16Ω	12～16Ω	0-2-4-6-8dBストラップ

3105	標準価格	¥20,200
3110	標準価格	¥50,900
3115	標準価格	¥50,900
3120	標準価格	¥32,900
3125	標準価格	¥32,900
3152	標準価格	¥83,800
3182	標準価格	¥83,800

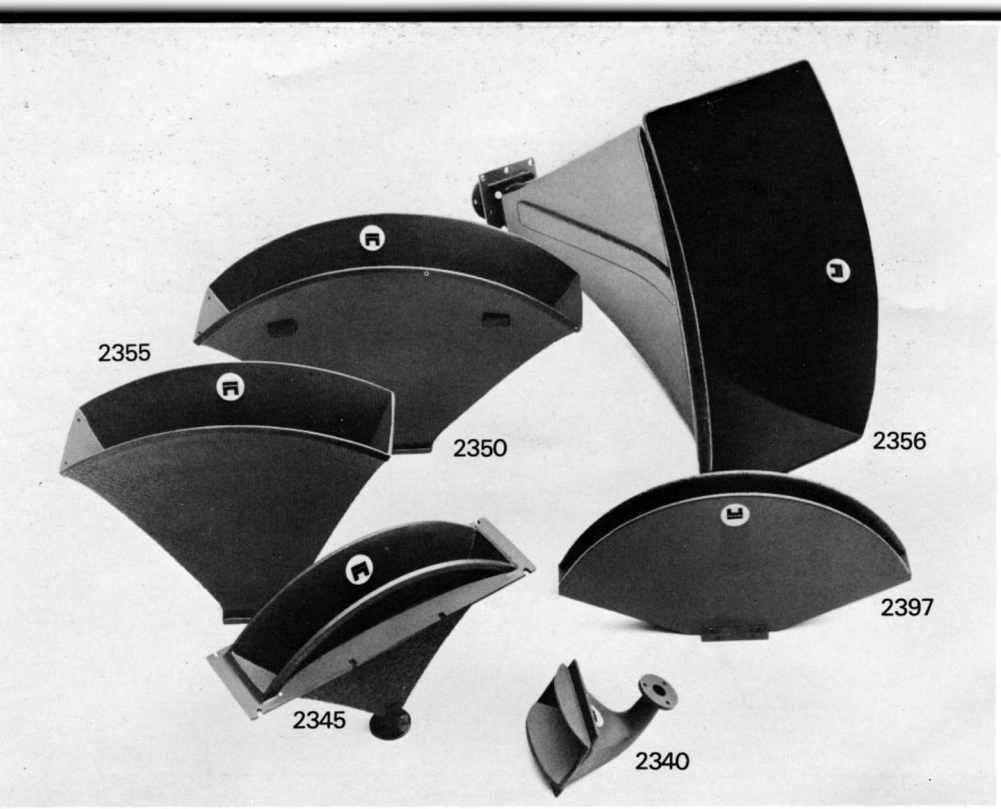
Electronic Frequency Dividing Networks

JBLエレクトロニック・クロスオーバー・デバイダーは2ウェイあるいは3ウェイ・アンプ方式のスタジオモニターPAシステムの帯域分割用に設計されています。
5233は2ウェイ・スピーカー用に、また5234は2台の2ウェイ・スピーカー用、あるいは3ウェイ・スピーカー用に使用できます。
どちらも12dB/octの減衰特性で連続可変型の高域レベル・コントロールを備えています。また入力は不平衡高インピーダンス、出力は不平衡低インピーダンスで、全高調波歪率0.5％以下、S/N 90dB以上というすぐれた特性です。
クロスオーバー周波数はクロスオーバー・カードを挿入することにより任意に選べます。クロスオーバーカードは別表の周波数のものが用意されていますが、これ以外の周波数を希望する方のためにブランクカードも用意されています。
どちらのディバイダーも1 EIA標準ラック・スペースにとりつけられ、寸法は48.3W、4.4H、19.4D(cm)で重量1.8kgです。

5233-5234

5233、5234用フィルター基板	
	周波数
52-5120	Blank
52-5121	4350スタジオ・モニター用
52-5122	500Hz
52-5123	4330、4332スタジオ・モニター用
52-5140	4340スタジオ・モニター用

5233	標準価格	¥130,000
5234	標準価格	¥154,000
52-5120	標準価格	¥5,700
52-5121	標準価格	¥7,600
52-5122	標準価格	¥7,600
52-5123	標準価格	¥7,600
52-5140	標準価格	¥9,400



High Frequency Horns

〈ラジアル・ホーン〉

2340、2345、2350、2355 及び2356はナチュラルな音質、幅広い指向性、フラットな周波数特性を備えたラジアル・ホーンです。音波は障害のないホーン内を通って拡散し、拡散範囲内のどのポイントでも均一な特性が得られます。

このラジアル・ホーン中最大の2356は重量を最小限にしかつ不要な共振をなくすため、非金属性材質の複合構造を採用しています。またその他のラジアル・ホーンは頑強なアルミ・ダイキャスト製で、外側に共鳴を防止するためのランサプラスという特殊ダンプ剤を何層にもコーティングしています。これらのラジアル・ホーンは野外での使用に特に適しています。

〈ディフラクション・ホーン〉

2397は音響レンズを使用しなくても非常に広い指向性が得られるディフラクション・ホーンです。音波は6個の並列エクスポネンシャル・ホーンを通り、1個のベルから拡散されます。ホーン材質は高密度の木製で、本来コンサート・ホール用に開発設計されたため、そのなめらかで透明な音色は抜群。もちろんコントロール・ルームのモニター用としてもすばらしい性能を発揮します。

		指向性（水平・垂直）	クロスオーバー周波数	スロート径 ホーン・アダプター	寸法	重量
2340	Radial right angle	80°×60°	1200Hz	2.5cm	20.6H×21.3W×21.2Dcm	2.0kg
2345	Radial	90°×40°	800Hz	2.5cm	17.1H×56.8W×39.1Dcm	6.6kg
2350	Radial	90°×40°	500Hz	2328 or 2329	20.3H×80.3W×50.8Dcm	11.6kg
2355	Radial	60°×40°	500Hz	2328 or 2329	20.3H×61.3W×50.8Dcm	7.3kg
2356	Radial	40°×20°	300Hz	5.1cm	41.9H×83.8W×123.8Dcm	11.2kg
2397	Diffraction	140°×60° 140°×30° baffled	800Hz	2328 or 2329	9.5H×66.0W×34.0Dcm	4.4kg

2340	標準価格	¥28,600
2345	標準価格	¥63,600
2350	標準価格	¥97,600
2355	標準価格	¥87,900
2356	標準価格	¥157,900
2397	標準価格	¥52,900

High Frequency Horn/Lens Assemblies

〈2305　パーフォレイト・プレート〉

多数の孔をあけた丸型の音響レンズをホーン開口部に取付けました。この多孔スクリーンはリング状で円錐形の分布指向性をもっています。このホーンはバッフル・パネルの後からエンクロージャーの中に取付け、付属のクランプ・リングによってマウントされます。

〈2390　50cmフォールデッド・プレート〉

厳密な計算に基いて設計された双曲線状のプレートをもつ音響レンズです。レンズの形が他と比べて複雑になっていますが、これは奥行きを短くするためプレートを45°の波形に曲げてあるからです。ホーンは角型のエクスポネンシャル型です。取付けは、レンズがバッフル面上にくるようにします。もしエンクロージャーの外に置く場合は、レンズとホーンの間にバッフル板を使用し、レンズ両側に51cm以上出る幅が必要です。

〈2391、2392　25cmスラント・プレート〉

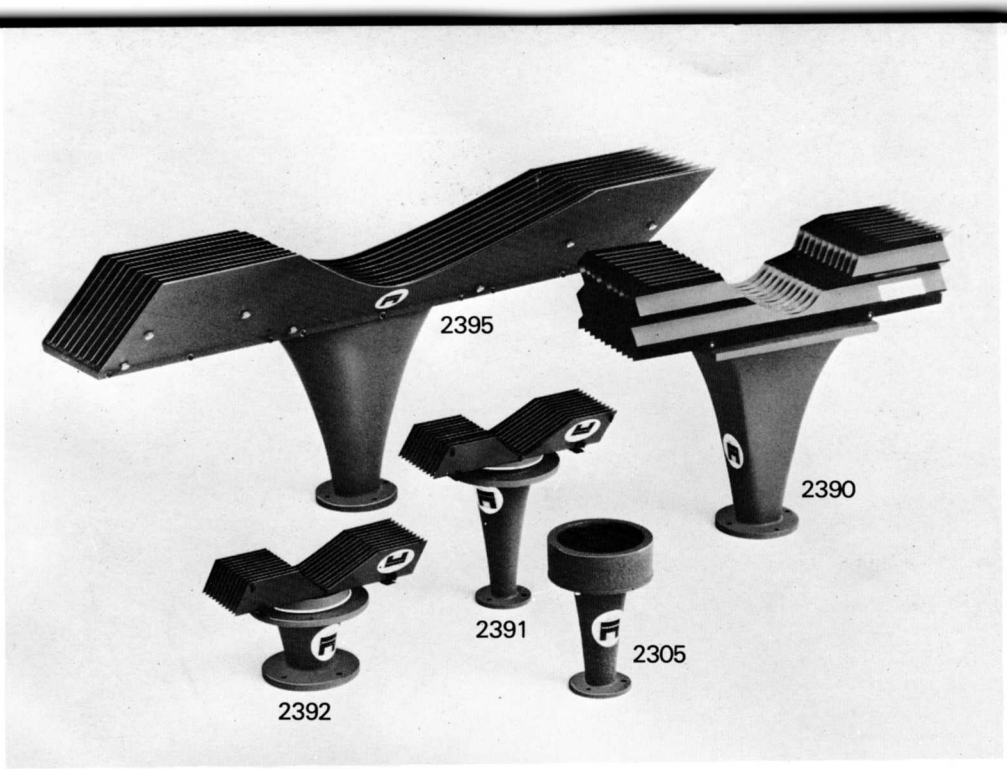
9.1m以内の近距離用に設計されたスラント・プレート型音響レンズです。綿密な計算に基いて双曲線状につくられた各プレートは、レンズの回折効果を高めるため一定の間隔をもって配置されています。またレンズはその効果を発揮させるため、レンズ両側に各々30cm以上のバッフルが必要であり、バッフルと前面グリルの間に6.7cmの空間が必要です。

2391はスロート径2.5cmのドライバー用、2392はスロート径5.1cmのドライバー用です。

〈2395　91cmスラント・プレート〉

巨大なスラント・プレート音響レンズで、非常に広い指向性を誇り、大ホールなどで均一な特性を得るのに最適です。

使用の際はバッフルは必要なくそのままエンクロージャーの上などに置きます。また設置用のブラケットが用意されています。



		指向性（水平・垂直）	クロスオーバー周波数	スロート径	寸法	バッフル板マウント寸法	重量
2305	Perforated Plate	90°conical	1200Hz	2.5cm	(13.6cm)diameter (19.7cm)length	13.3cm	1.4kg
2390	Fold Plate	100°×45°	800Hz	5.1cm		15.2×22.9cm	5.0kg
Horn					19.1H×26.7W×30.5Dcm		
Lens					17.8H×50.5W×11.8Dcm		
2391	Slant Plate	80°×45°	800Hz	2.5cm		10.8cm	1.1kg
Horn					(15.6cm)diameter (21.6cm)length		
Lens					15.6H×25.4W×6.3Dcm		
2392	Slant Plate	80°×45°	800Hz	5.1cm		10.8cm	1.1kg
Horn					(15.6cm)diameter (11.7cm)length		
Lens					15.6H×25.4W×6.3Dcm		
2395	Slant Plate	140°×45°	800Hz	5.1cm	38.1H×91.4W×47.6Dcm	不用	11.6kg

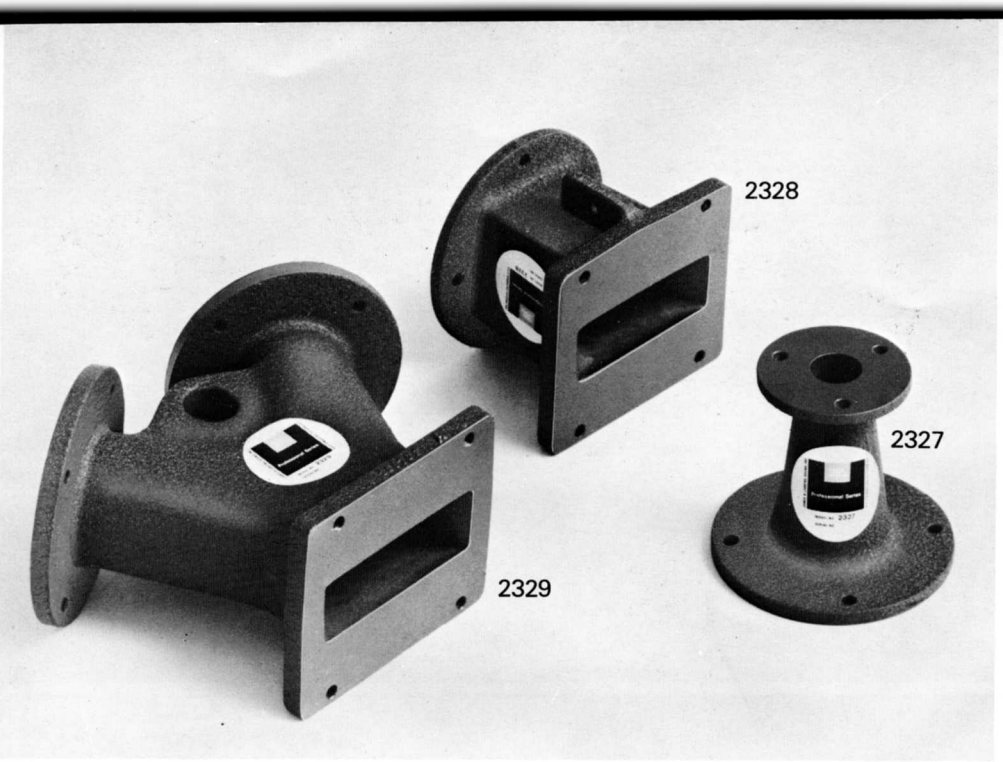
2305　標準価格　¥24,300

2390　(2309 ホーンスロート / 2310 レンズ)　標準価格　¥85,900

2391　標準価格　¥28,600

2392　標準価格　¥35,600

2395　標準価格　¥128,300



Horn Adaptors

〈2327　アダプター〉

スロート径2.5cmのドライバーにスロート径5.1cmのホーンを取付ける場合に必要なアダプターです。これを逆にしてスロート径5.1cmのドライバーに使用することもできますが、8,000Hz以上の高域が幾分損われてしまいます。

〈2328　ホーン・スロート〉

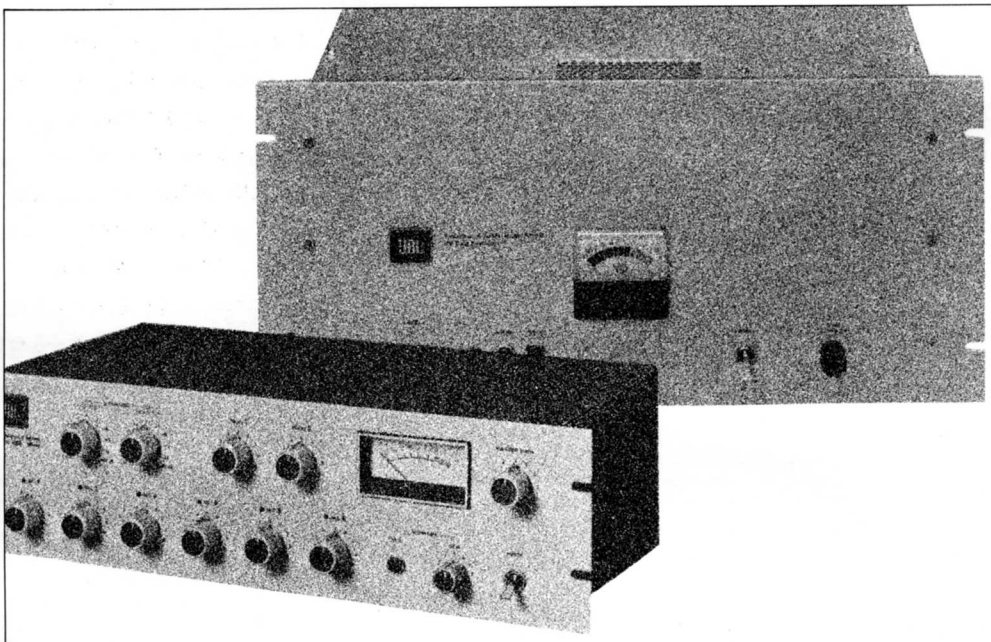
スロート径5.1cmのドライバーに2350、2355、2397のホーンを取付けるのに必要なスロートです。吊り下げ用の小穴がついています。

〈2329　ダブル・スロート〉

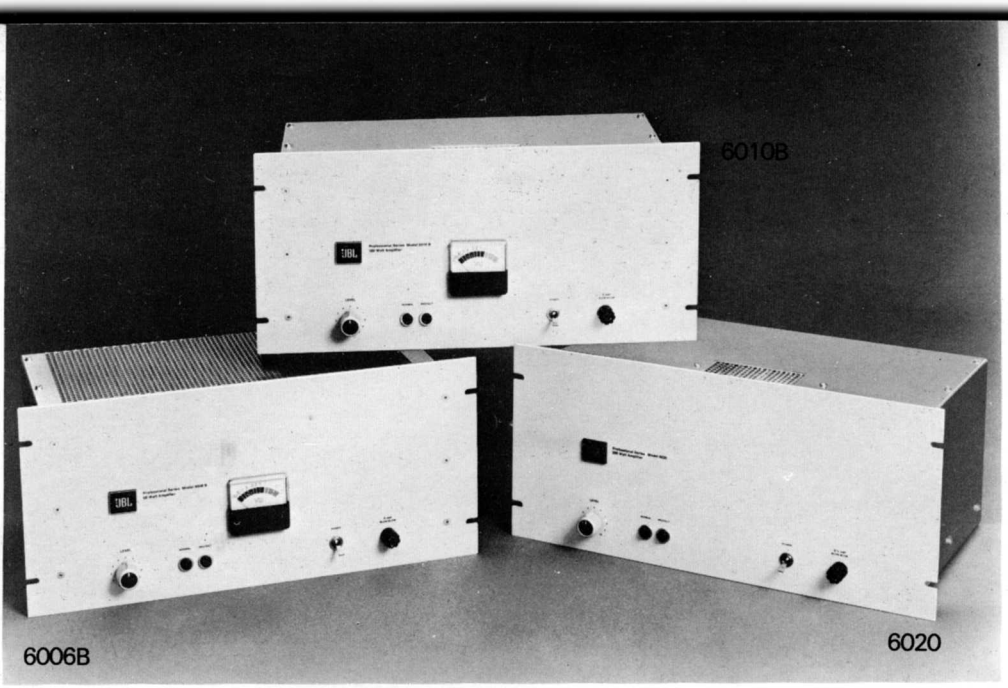
2個のスロート径5.1cmドライバーを同時に2350、2355あるいは2397のホーンに取付けるのに必要なアダプターです。

JBLホーン・レンズ・アッセンブリーは高度な音響理論に基いて設計され、広い指向特性と均一な周波数特性が得られます。やわらかく鋭い、と表現できるその指向性パターンは高品位を要求する音楽再生用や近距離のPA用に最適です。JBLのエクスポネンシャル・ホーンは共振や歪の少ない、どっしりしたアルミ・ダイカスト製です。ホーン内側のテーパーはドライバーから発する音波を徐々に拡散させ、ダイアフラムに負荷をかけます。このテーパーの割合いはホーン・レンズ・アッセンブリーの縦方向の指向性に影響します。また音響レンズは光学の凹レンズに似た機能をもっており、ホーンの中心を進む音圧エネルギーがあまりレンズの影響を受けない一方、外側になるにしたがってエネルギーが拡散されるように設計されています。ホーン・レンズ・アッセンブリーの横方向の指向性は音響レンズの構造と、ホーンのテーパーの割合いによって決定されます。

2327	標準価格	¥13,800
2328	標準価格	¥18,100
2329	標準価格	¥24,300



Amplifiers



Power Amplifiers

JBLプロフェッショナル・シリーズのパワーアンプは高い性能と安定性が要求されるプロ用に設計され、信頼性が高く、定格に余裕のあるアンプです。入力、出力などあらゆる用途や条件下で、最大のFlexibilityが発揮できるように設計されています。

入力は標準の50kΩ不平衡ですが、アクセサリーの5195を取付ければ15kΩブリッジあるいは、600Ωマッチング平衡入力に変えられます。

出力トランスは70.7Vと8Ω、16Ω接続用のタップを備えていますが、スタジオ用としてより広い周波数特性と低歪率特性を希望する場合は、出力トランスにバイパス回路を設けるだけで4Ωのダイレクト出力が得られます。

さらに、 出力端子のショートや負荷のミスマッチング、低周波での誘導負荷、過大入力、ホワイトノイズ、過熱、設置ミスなどあらゆるケースのもとでアクシデントからアンプを守る優秀な保護回路を採用しました。また250Hzのローカットフィルターを内蔵、リアパネルでON、OFFでき、ミッドレンジやツイーター専用にアンプを使用した場合、ユニットを保護しています。

フロントパネルはライトグレーのつや消し焼付けエナメル仕上げ。 サイズは各機種とも48.3W、22.2H、25.4D(cm)で 5EIA標準ラックスペースに取付けられます。

	6006B	6010B	6020
定格出力	60W RMS 40～12kHz	100W RMS 40～12kHz	200W RMS 35～12kHz
定格入力	0.7V	0.7V	0.7V
全高調波歪率 (定格出力時)	1.0%以下	1.0%以下	0.5%以下
混変調歪率 2%以下 1%以下 1%以下	 60W RMS 10W RMS 0.15W RMS	 100W RMS 10W RMS 0.15W RMS	 200W RMS 10W RMS 0.15W RMS
S/N	85dB以上 (60W以下)	85dB以上 (100W以下)	90dB以上 (200W以下)
出力インピーダンス (内蔵トランス端子)	8Ω、16Ω or 70.7V	8Ω、16Ω or 70.7V	8Ω、16Ω or 70.7V
ダイレクト	4Ω	4Ω	4Ω
重量	17kg	21kg	25kg

6006B 標準価格 ¥197,100

6010B 標準価格 ¥246,000

6020 標準価格 ¥359,500

Mixers and Preamplifiers

〈5101B プリアンプ〉

5101Bはすぐれた S/N と低歪率を誇るマイク1回路用のプリアンプです。
入力はハイ・インピーダンス型で、ローインピーダンス・マイクを使用する場合はマイク・トランス5901を追加します。最高出力レベルは＋10dBm不平衡で、5195マッチング/ブリッジトランスを使えば平衡出力になります。

〈5306 ミキサー・プリアンプ〉

5306は6回路のマイク入力と2回路のプログラム入力を備えたミキサー・プリアンプです。
各マイク・チャンネルに入力オーバーになる直前に点滅するインジケーター・ランプを採用。ランプは歪が可聴レベルに達する前に働き始めるので、オペレーターは十分な警報が得られます。
またレベル・コントロール回路にフィードバック型を採用し非常に幅広いダイナミック・レンジを可能にしています。
1～6チャンネルは入力インピーダンス50～600Ωのマイク用回路で、マイク入力トランスと出力トランスを内蔵しています。
プログラム・チャンネルは入力インピーダンス50kΩ不平衡で、プラグイン・トランス5196を使えば600Ω平衡型に変換することができます。
またプログラム入力のうち1回路は5192マグネチック・カートリッジ用プリアンプ・モジュールを追加し、マグネチック・カートリッジからの入力にも使用できます。
さらに5306は独立したモニター回路とゲインコントロールを内蔵。前・後どちらのパネルからでも補助アンプやハイ・インピーダンス型ヘッドホンを使ってモニターできます。またこれは予備出力としても利用できます。

5101B

5306

5101B	
ゲイン	75dB
最大出力レベル	＋10dBm
再生周波数帯域	20～20,000Hz ±1dB
全高調波歪率	0.25%以下
混変調歪率	1.0%以下
S/N(入力換算値)	－122dBm 無負荷
寸法	4.4H×48.3W×14.0Dcm
重量	2.6kg

5306	
ゲイン マイク・チャンネル プログラム・チャンネル	 86dB 40dB
最大出力レベル	＋24dBm
再生周波数帯域	20～20,000Hz ±1dB
全高調波歪率	(0.2%以下)＋18dBm
混変調歪率	(0.2%以下)＋18dBm
S/N(入力換算値)	－125dBm 無負荷
寸法	13.3H×48.3W×22.9Dcm
重量	5.4kg

5101B 標準価格 ¥95,700

5306 標準価格 ¥459,100

5308

5600-2B

5600-2B	
ゲイン	
マイク・チャンネル	57dB high impedance 83dB with 5901
プログラム・チャンネル	26dB 30dB with 5195 wired for bridging 44dB with 5195 wired for matching ＋18dBm
再生周波数帯域	20～20,000Hz　±1dB
全高調波歪率	0.25%以下
混変調歪率	0.5%以下
S/N(入力換算値)	－122dBm　無負荷
寸法	13.3H×48.3W×25.4Dcm
重量	5.6kg

〈5308　増設用ミキサー〉

8チャンネルのマイク入力をもったミキサー・プリアンプで、5306と共用すれば14チャンネルまでマイクが増設できます。

回路は5306のマイク・プリアンプと同じで、幅広いダイナミック・レンジと入力オーバー・インジケーターが特徴。電源は5306から供給されます。

サイズは48.3W、8.9H、22.9D(cm)、重量4.7kgです。

〈5600-2B　ミキサー・プリアンプ〉

5600-2Bは、会議室やホールなどのPAに手ごろなミキサー・プリアンプです。構成はマイク入力4回路とプログラム入力2回路。これにオプションの5190Bマイク・プリアンプを追加すれば、さらに2本のマイクが使え、計6チャンネルになります。フロント・パネルの左上に着脱可能なカバーがあり、これを外せば簡単に5190Bが取付けられます。

入力はすべて不平衡ハイ・インピーダンス型です。マイク・チャンネルは5901マイク入力トランスを使えば平衡ロー・インピーダンスに変えられます。さらに5904Tパッドを使い、マイク入力を50kΩ不平衡プログラム入力に変換させることもできます。

2回路のプログラム・チャンネルは、それぞれ5195マッチング/ブリッジ・トランス用のソケットを備え、15kΩブリッジ、600Ωマッチング平衡入力に変換することができます。またここに5191マグネチック・カートリッジ/テープヘッド用プリアンプを使用することもできます。

バス、トレブル・コントロールを備えているほかキューコントロールによりヘッドホン・ジャックを通してモニターできます。またVU計は後部から調整ができます。

5308　標準価格　**¥337,100**

5600-2B　標準価格　**¥242,800**

Special Purpose Electronics

〈7124B　AGCアンプ〉

7124Bは周囲の雑音、騒音に対しPAシステムの音量を自動的に調整するAGCアンプで、周囲の騒音レベルが絶えず変動する場所（空港、街頭など）に設置するPAシステムに最適です。7124Bは周囲の騒音をマイクによりあらかじめサンプリングし、これを基準にして出力レベルを20dBまで変化させます。コントロール回路はプログラム・レベルを連続的に変化させ、不自然なステップ効果はありません。

マイクはハイ・インピーダンスのダイナミック型またはセラミック型マイクを使用します。ロー・インピーダンス・マイクを使う場合は5901マイク・トランスを追加します。さらに50kΩのハイレベル不平衡入力回路もあり、5195マッチング/ブリッジトランスを使えば15kΩ平衡ブリッジ、あるいは600Ωマッチング入力に変換できます。7124Bはプリアンプとパワーアンプの中間に設置し、最大出力レベルは＋10dBmです。600Ω平衡出力が必要なときは5195を使います。

〈7125　セーフティー・マトリックス〉

7125は２台のパワーアンプの並列使用に必要なセーフティー・マトリックスで、２台のアンプの70V出力を共通の負荷に供給し、絶対的な信頼感が得られます。もし片方のアンプが故障または性能低下した場合は、ただちに正常な方のアンプのみに切換えられ、その場合でも負荷インピーダンスは変化せず、出力ロスは3dBにとどまります。また故障したアンプは自動的に回路から切離され、全体のシステムの動作を中断せずに、修理のため取外すことができます。また故障したアンプが正常に戻ったときは自動的に回路に復帰し、これはインジケーターにより確認されます。

フロント・パネルにはゼロ同期メーターがあり、２台のパワーアンプの出力バランスが簡単に調整できます。またベルやブザー、ランプなどのリモート警報信号を設置するための２回路のリレーコンタクトが内蔵されています。

フロント・パネルはライトグレーつや消し焼付けエナメル仕上げ。サイズは48.3W、13.3H、14.6D(cm)で３EIA 標準ラックに取付けられます。重量は9.3kgです。

7124B

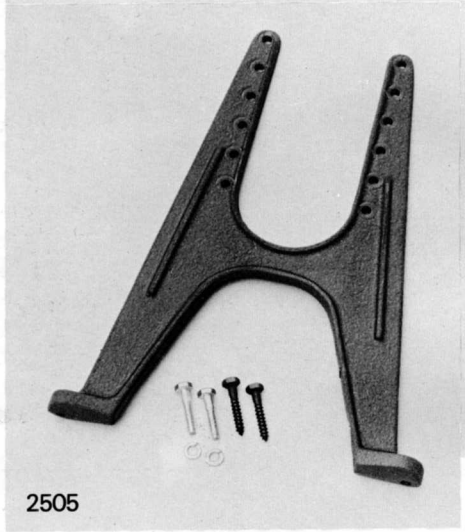
7125

	7124B
ゲイン	0dB with full sensing signal −20dB with no sensing signal
最大出力レベル	＋10dB
再生周波数帯域	20～20,000Hz　±1dB
アタック・タイム	1 second for 10dB increase 3 seconds for 20dB increase
ディケイ・タイム	1 second for 10dB decrease 3 seconds for 20dB decrease
寸法	8.9H×48.3W×15.2Dcm
重量	3.6kg

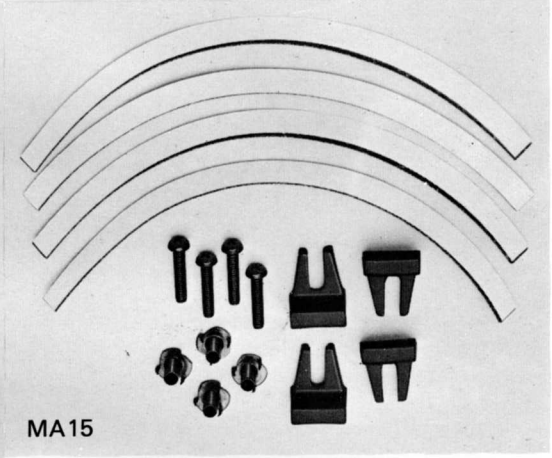
7124B 標準価格 **¥240,500**

7125 標準価格 **¥171,400**

7126B



2505



MA15

7126B	
ゲイン	55dB high impedanse 55dB low impedance with 5901 45dB line level with internal modification
最大出力レベル	＋26dBm
再生周波数帯域	20～20,000Hz　±1dB
全高調波歪率	0.5%以下
圧縮比	2:1 or 4:1 選択可
スレッシュホールド	0dBm
最大圧縮	20dB
リリーズ・タイム	0.5 or 1.5 seconds　選択可
寸法	8.9H×48.3W×24.4Dcm
重量	5.8kg

〈7126B　コンプレッサー・アンプ〉

7126Bは過大入力を防ぐコンプレッサー/ラインアンプです。スイッチによりラインモード（55dBゲイン）と2:1あるいは4:1のコンプレッサー・レベルが選べ、PAシステムなどのダイナミックレンジをコントロールします。また復帰時間は0.5秒と1.5秒とが選べます。マイク入力はハイ・インピーダンス用で、5901を取付ければロー・インピーダンス用にも使えます。また内部の切替でライン入力レベルにも変えられます。

Accessories

〈MA15スピーカーマウント・キット〉

MA15はJBLプロ用スピーカーのフロント・マウントを簡単におこなうアクセサリーです。MA15を使用することにより、エンクロージャーバッフル板のスピーカー・マウント穴口径に柔軟性をもたせ、既存のエンクロージャーにスピーカーをマウントする場合特に便利です。JBLプロ用38cm径スピーカーの推奨カットアウト口径は35.5cmですが、MA15を使えば36.3cmと大きくなります。キット内容はシーリング・ガスケット、ダイキャスト製クランプ及びボルト一式。クランプ類は30cmスピーカー用にも使えますが、ガスケットは流用できません。

〈2505　可変ホーン・マウント〉

2505はJBL高域用ホーンの方向を調節するのに便利なスタンドで、5.1cmのホーンスロート用です。ホーンの4個のボルトフランジに、ドライバーを固定するのと同じボルトによって取付けます。標準仕様は2395ホーン・レンズです。
2505の高さは、33.2cmでドライバーの高さを2.5cm間隔で調整できます。2505のセッティング台への取付け穴間隔は、23.5cmです。

7126B 標準価格 ¥214,800

MA15 標準価格 ¥3,000

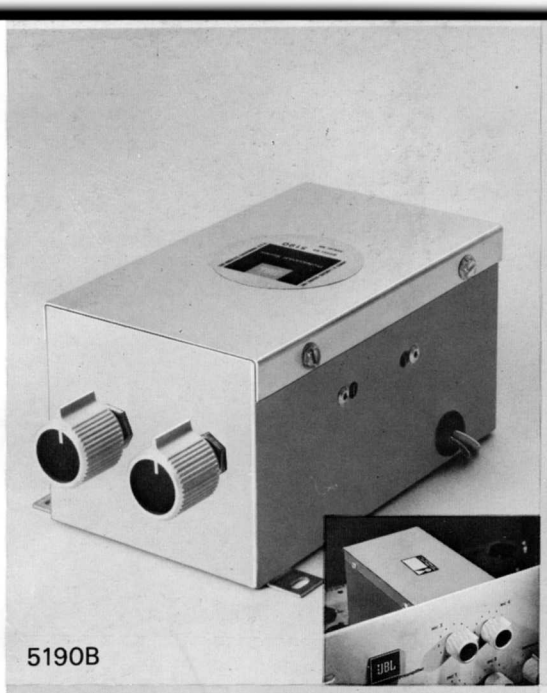
2505 標準価格 ¥12,800

〈5190B　マイク増設用プリアンプ〉
5190Bは5600-2Bミキサー・プリアンプに2本のハイ・インピーダンス・マイクを追加使用する際に必要なプリアンプです。ロー・インピーダンスのマイクを使用するときは5901マイク・トランスをプラグ・インします。取付けは非常に簡単で、5600-2Bのパネルのカバーを外せば、そこにツマミ用の穴が開いています。

〈5191マグネチック・フォノ/テープヘッド用プリアンプ〉
5600-2Bミキサー・プリアンプに使用し、50kΩ不平衡プログラム用入力を、マグネチック・カートリッジまたはハイ・インピーダ・テープヘッド入力用に変換します。マグネチック・カートリッジ用からテープヘッド用への切換えは、5191内部のジャンパー線切換えでおこないます。マグネチック・カートリッジ用イコライザーは標準RIAAカーブで、テープヘッドイコライザーは19cm/s用です。

〈5192　マグネチック・フォノ用プリアンプ〉
5306ミキサー・プリアンプ用のRIAAカーブ・イコライザーで、プログラム入力をマグネチック・カートリッジ用に変換します。

〈5195　マッチング／ブリッジ・トランス〉
6006B、6010B、6020パワーアンプを使用する際、5600-2Bミキサー・プリアンプや7124B AGCアンプからの入力を15kΩ平衡ブリッジまたは600Ω平衡マッチング入力に変換します。
ブリッジからマッチングへの切換えは、アンプのソケット上のジャンパ線移動によりおこなえます。また5195は5101Bにも5600-2Bや7124Bと同様に使え、標準＋10dBm出力を600Ω平衡ライン出力に変換することができます。5195の周波数特性は50～20,000Hzで＋20dBm出力のとき歪率は1％以下です。また90dB以上のシールド効果が得られるミューメタル・ケースとハム防止巻線を採用しました。


5190B

5191

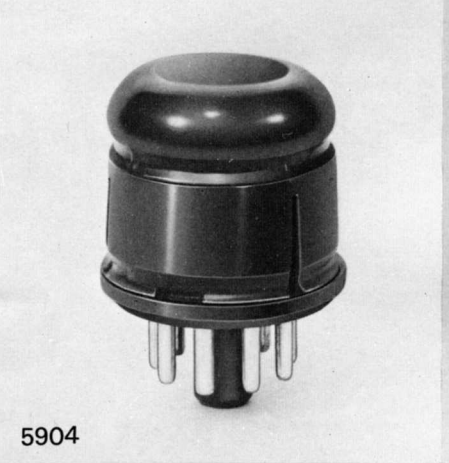
5192

5195

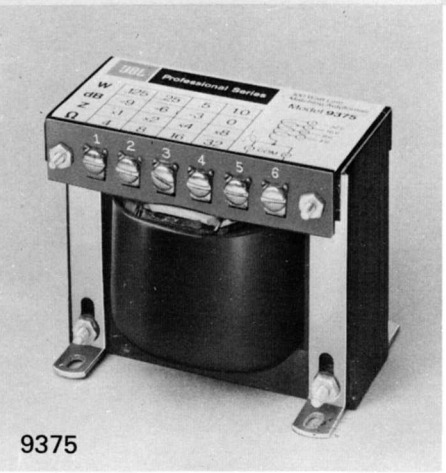
5190B	標準価格	¥22,200
5191	標準価格	¥12,800
5192	標準価格	¥13,800
5195	標準価格	¥15,900

5196

5901


5904

9308



9375

〈5196　マッチング／ブリッジ・トランス〉
5306ミキサー・プリアンプに使用し、50kΩ不平衡入力を600Ω平衡ブリッジ入力に変換します。特性その他は5195と同じ設計です。

〈5901　ユニバーサル型マイク・トランス〉
5101B、5600-2B、7124B、7126Bに使用し、マイク入力をローインピーダンス平衡型に変換します。周波数特性は30～20,000Hz、－55dBmで、歪率1％以下です。ミューメタル・ケースとハム防止巻線により90dB以上のシールドが得られます。

〈5904　T型パッド〉
5600-2Bミキサープリアンプに使用し、信号を減衰させてマイク入力を50kΩ不平衡プログラム入力と同じ感度にします。

〈9308　70Vライン・マッチング・トランス〉
1、2、4、8Wの1次タップをもつ柔軟性をもった70V用トランス。2次巻線は4、8、16Ωのスピーカーにマッチングし、定格8Wで周波数特性は30～15,000Hzです。

〈9375　100Wライン・マッチング・トランス〉
非常にFlexibleな特性をもつインピーダンスマッチング・オートトランス。定格100Wで、いかなる組合せでも、4、8、16、32Ωの負荷にマッチングします。例えば16Ωのネットワークに対し、2個の16Ωドライバーを使うことができます。

5196	標準価格	¥22,200
5901	標準価格	¥13,800
5904	標準価格	¥3,100
9308	標準価格	¥10,700
9375	標準価格	¥20,200

お買上げは信用ある当店で———。

(0607S5)

日本総代理店

Sansui

●'76.10.20現

山水電気株式会社 東京都杉並区和泉2-14-1

テレフォンサービス●国内販売第3部 ☎(03)323-1111

オーディオセンター☎(03)342-6871・横浜ショールーム☎(045)261-6972・名古屋ショールーム☎(052)261-4751・大阪ショールーム☎(06)312-4390・広島ショールーム☎(0822)47-4538・福岡ショールーム☎(092)271-2993